

社会変動論・日本社会論

社会変動論：2時点における社会構造・社会制度、社会意識の比較

社会構造：基礎社会：家族・親族、地域社会
派生社会：結社組織、国家・民族

社会制度：文化、宗教、慣習等

社会意識：成長期の高揚感、停滞期の閉塞感

比較の困難

- データ上の制約: 現時点と過去の時点で同じ尺度で測定したデータは殆どない
- 既存のデータの利用: データの性質に分析は左右される
- 資料を読み込む問題意識の差異

テキスト、講義の進め方

- 野々山久也『家族社会学の分析視角』ミネルバ書房、1996
- 2章程度読み進める→課題を出すので、それについて考えてもらう
- 評価はその発表とレポート